

■前原一誠 志士。長州藩士として奮戦、〈明治維新〉に貢献するも新政府と合わず、〈萩の乱〉を起こして処刑された。
まえばらいっせい
富籤流行・ 1830＝ 萩藩大組士佐世彦七の長男に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 7歳：

蛮社の獄・ 1839＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝15歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1848＝18歳：

ペリー来航・ 1853＝23歳：

蕃書調所・ 1857＝27歳： 〔松下村塾〕に入り、吉田松陰に師事、
五ヶ国条約・ 1858＝28歳： 松陰投獄の報を得て抗議し、謹慎に処せられる。
安政の大獄・ 1859＝29歳： 謹慎を解かれ、長崎に遊学、
桜田門外変・ 1860＝30歳：

帰藩後、〔西洋学所(博習堂)〕に入る。
生麦事件・ 1862＝32歳： *久坂玄瑞らとともに兵庫出張を命ぜられ、長井雅楽への攻撃をすすめ、さらに、文学修業のため江戸に赴く。高杉晋作・久坂玄瑞らが血判連名した〔御楯組〕に加わり、
8月18日政変 1863＝33歳： 上京、〈八月十八日の政変〉後、これを伝えに帰藩、ついで三条実美ら都落ちの七卿の用掛りとなり、さらに四国連合艦隊との交戦に参軍した。〈第一次長州征討〉下の、藩政の反動化のもとで筑前に潜入、帰藩後、高杉晋作らとともに下関に挙兵、長州藩内戦に参加して、新たな藩政府の樹立に尽力し、
薩摩藩士密航1865＝35歳： *多くの要職につき、前原姓を復活。〈第二次長州征討〉戦で小倉口に参軍後、九州の長州藩占領地を管理。

薩長同盟・ 1866＝36歳：
大政奉還・ 1867＝37歳： 小性筆頭となり、海軍頭取を兼ねる。
明治維新・ 1868＝38歳： 干城隊副督として北越戦線に出張後、会津征討越後口の参謀に任ぜられ、長岡城攻防戦に参加。
戊辰戦争終・ 1869＝39歳： 越後府判事となり、賞典禄として永世禄600石を受け、さらに、参議・兵部大輔となったが、
初の日刊新聞1870＝40歳： *新政府の政策と意見の合わなくなることが多く、辞職し、病氣療養を理由に帰郷した。

明治6年政変 1873＝43歳：

以来、再三にわたる出仕の要請をことわりつづけ、山口県の反政府士族の領袖と目されるに至り、
初の民間工場1875＝45歳：
三つの反乱・ 1876＝46歳： *奥平謙輔・横山俊彦らとともに、〔熊本敬神党〕に呼応して挙兵したが広島鎮台兵に制圧された。位記剥奪の処分を受け、島根県宇竜港に捕縛され、萩で斬に処せられた。